

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム自由の樹 しゃくやく	評価実施年月日	平成22年1月30日～平成22年2月7日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年2月7日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>地域の中で入居者さんが暮らし続けるという意味を含み、理念に「挨拶が出来る地域交流」との文章を掲げております。事務所内や廊下にも理念を貼り、意識できる環境を作っております。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>理念に基づいたケアが行われるよう、ネームプレートの裏面に理念を携帯し、いつでも思い出し意識できるようにしております。又、日々のミニカンファレンスでも、理念とケアが結びつくような話し合いを行っております。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>パンフレット、グループホーム内に理念を掲げております。又、契約時に理念の説明を行ったり、広報誌に掲載することで、理念に対する理解が得られるよう、取り組んでおります。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>出勤時や近所での買い物、除雪の際には挨拶をし、ホーム内でイベントがある時にはお誘いしております。又、ご近所の方より頂き物があったり、日常的な付き合いを行っております。ホームの玄関には「介護についてお悩みの方は御気軽にご相談下さい」との張り紙をし、気軽に立ち寄ってもらえるよう、工夫をしております。</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>町内会への参加や、お中元・お歳暮などのお付き合いの他、近隣高校の職場体験学習の受け入れや、保育園児によるお遊戯会、子供神輿などでホームに来ていただく等、交流の機会が多く持てるよう努めております。</p>		
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>町内会の方やご家族代表、地域包括支援センターの方々と運営推進会議を通じて、入居者さんをはじめ、地域の高齢者の方に役立つ情報の交換や、感染症対策などの勉強会を行っております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	各ユニットの計画作成担当者及び職員が、入居者さんとの日常的な会話の中から意見や不満等をお聞きしております。それらの意見等で改善できるところは早急に対応し、運営に反映させるよう取り組んでおります。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族の来訪時やケアプラン作成時の連絡の際、近況報告を行っております。又、月に一度の広報誌や生活の様子にて日頃の暮らしぶりや健康状態について報告し、急な体調の変化が見られた時はその都度連絡させていただいております。金銭管理については、毎月明細書を送付しお知らせしております。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に苦情箱の設置と外部の苦情相談窓口の案内のポスターを貼り、いつでも意見を言っていたる機会を作っております。又、来訪時や定期的な電話連絡の際に、ご意見や要望を確認し、運営に反映させております。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の会議の中で、職員からの意見を聞く機会を設けております。又、職員とのコミュニケーションを図り、意見や提案を言いやすい環境作りを心掛けております。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者さんの要望に添えるよう、外出の希望やイベントが行われる時は、その都度、職員の配置や勤務時間の調整を行っております。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	出勤の際には必ず、フロアの分け隔てなく入居者さん一人一人に丁寧に挨拶をし、馴染みの関係が築けるよう配慮しております。又、フロアの移動も最小限に抑え、入居者さんの生活環境に影響しないよう配慮を行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>外部研修がある時には、職員が参加できるよう周知し参加を促しております。参加した外部研修を基にホーム内で勉強会、研修を行ない、職員育成の為に取り組みを行っております。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>グループホーム協議会の会合や研修に積極的に参加し、交流の機会を持ちネットワーク作りを行っております。同じグループ内でのホーム見学や職員間での情報交換や課題についての話し合いで、サービスの質を向上させていく取り組みを行っております。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員のストレス軽減の為、ボーリング大会や夏祭り等の懇親会を行ない、意見や悩みを言えるような雰囲気、環境づくりに努めております。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>管理者より報告を受け、入居者さんや職員の状況の把握をし、必要時には現場にて状況の確認を行っております。又、資格にあわせた給与体制を確保し、向上心を持って働けるよう取り組んでおります。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前にホームの見学に来ていただき、ホームの雰囲気を味わっていただいております。その際、不安なことや求めている事をご本人に確認し、安心して生活出来るよう聞く機会を作り、信頼関係を築くよう努めております。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前のホーム見学で、ホームの環境や雰囲気を感じ取っていただき、不安なことや確認したいこと等を聞く機会を設けております。又、入居に至るまでに気になる事があればいつでも連絡していただける関係づくりに努めております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けた際には、どのようなサービスを希望されているのかを見極め、必要な支援が受けれるよう説明しております。又、他のサービスが必要な場合は柔軟に対応しております。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に訪問させていただいたり、ご家族と一緒にホームに遊びに来ていただき、他入居者さんや職員とお茶を飲みながら会話をし馴染んでいただけるよう配慮しております。又、ご本人にとって馴染みのある茶碗や家具を継続して使用しながら、徐々に馴染んでいただけるよう、工夫しております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	職員は入居者さんに対して敬意を持って対応するように心がけております。又、介護する側、される側との関係ではなく、出来る事は一緒に行っていただき、職員も分からないことは教えていただきながら共に支えあう関係を築けるよう心がけております。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	入居者さんの望む生活が送れるよう、面会に来ていただいたり、一緒に外出する機会が持てるようご家族と相談し協力を得ながら、共に入居者さんを支えていく関係を築いております。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるよう支援している。	月に一度のお手紙での近況報告、面会時や電話連絡時などに入居者さんの日々の生活の様子をお伝えし、ホームでの誕生日や行事がある時にはお誘いし、より良い関係を築いていけるよう努めております。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	学生時代の友人や、長い期間交流のあった知人の方との交流が途切れることなく続くよう、入居者さんからの希望時や、忘れていた時には職員が声を掛け、電話やお手紙での交流が図れるよう努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者さん同士が談話などをされている時は必要に応じて、友好的な関係が築けるよう、職員が橋渡しを行っております。又、他入居者さんに対する不満がある時には、関係が悪化しないよう職員が間に入り、関係の改善に努めております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了後もご家族がホームに遊びに来てくださったり、ホームにお寄りいただけるよう声掛けを行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時やケアプラン作成時に、ご本人やご家族にホームでの生活に対する思いや希望を確認し、日々のケアに反映させております。又、希望や意向などを訴えるのが困難な方は、日々の生活や会話の中からそれらを汲み取り、ケアを行っております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にはご自宅又は病院への訪問を行い、ご本人やご家族から生活歴や馴染みのものなどの把握に努めております。その他にも、生活背景や生活史をバックグラウンドアセスメントとしてご家族に記入していただいております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の生活をもとに、入居者さん一人ひとりの暮らし方を把握しながら、出来ること、出来ないことの見極めが出来るよう、出来ない事の介助を行いながら、現状把握に努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人やご家族の思いや意見をお聞きし、アセスメントやモニタリングを行っております。サービス担当者会議にはご家族にも参加していただけるようお願いしております。参加時にはご家族の意見を頂き、不参加の場合は面会時や電話にて意見を伺っております。又、かかりつけ医からの意見もお聞きし医学的な面も考慮した介護計画書を作成しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定時のケアプラン作成時の他にも、入院後などで身体や心身に状況の変化が見られた時には、ご本人やご家族と話し合い、早急に介護計画書の見直しを行い現状に即した介護計画書を新たに作成しております。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の生活の様子、食事・水分・入浴・排泄状況を個別に記録しております。記録を基に情報の共有を図り、介護計画書の見直しに活用しております。又、連絡・カンファレンスノートなどを活用し、入居者さんの変化や気づきなどの情報の共有を図っております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居時の引越しのお手伝いの他に、入居後は必要時の通院送迎・付添い、外泊や外出時の送迎など、その時の状況に応じてご家族との相談の上、柔軟な対応を行っております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の一人としての生活が継続し行えるように、定期的に消防や町内会長より助言をいただいたり、近隣高校の社会体験学習の受け入れや、近隣保育園の園児によるお遊戯会の開催、ボランティアによるよさこい演舞など、関係機関の協力を得ながら支援しております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービスの利用を希望される場合や必要性が生じた時にはいつでも他のサービスが利用できるよう、地域包括支援センターや他の事業所のケアマネージャーと情報交換を行っております。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に参加していただいた際や必要時には、権利擁護や成年後見制度についての質問をさせていただいております。又、入居時や退去時なども、地域包括支援センターと協力し支援を行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	入居前には、ご本人やご家族にかかりつけ医の希望を確認し、納得が得られたかかりつけ医の適切な医療が受けられるよう支援しております。又、事業所の協力医以外を希望された場合にも、協力いただけるよう支援を行っております。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力医と連携し、入居者さんの生活に変化が見られる時には必要に応じて相談し、助言をいただいたり、認知症についての検査や治療を受けられるよう支援しております。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週に3回、看護師の勤務があり、勤務時以外にも夜間帯でも連絡が取れる体制をとっております。日常生活の健康管理の他、他の協力医との専門的な情報交換を行っております。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者さんの入院時にはご家族や病院関係者と早期に退院できるよう相談し、入居者さんが不安にならないよう、職員がお見舞いに伺っております。又、情報の提供や退院後の生活についての助言をいただき、退院後の生活に役立てております。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	契約の際に、「重度化した場合の指針」について説明させていただき、同意をいただいております。又、その時々状況に応じて再度意向を確認し、ご本人やご家族、かかりつけ医と今後の対応についての話し合いをし、方針の共有を図っております。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人、ご家族の意向を確認し、かかりつけ医や看護師と連携を図り、できること・できないことを見極め、安心、納得の終末を迎えることができるよう準備しております。又、急変時などにも対応していただけるようかかりつけ医との連携を密に取れるよう、日頃から相談しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>他の場所での生活を希望され移り住む場合には、ご本人やご家族様の意向を確認し、包括支援センターや小樽市の協力を得て情報交換を行い、ご本人の希望する生活が送れるよう努めております。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人生の先輩に敬意を持ち接することで、入居者さんの誇りやプライバシーを損ねることがないように生活を共にするよう努めております。又、個人の記録や広報誌の写真的掲載においても十分配慮しております。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者さんの希望を優先させたケアを行っております。意志疎通の困難な入居者さんに対しては表情や仕草、行動から入居者さんの希望を確認し、職員の都合で物事を決定することのないよう支援を行っております。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>職員の都合に合わせたケアを行うことなく、入居者さん一人ひとりの思いや希望を尊重し、その人らしい生活が送れるよう支援しております。又、入浴時間や食事の時間、買い物など柔軟に対応しております。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>毎日の着替えの際には、ご本人の希望する衣類を選んでいただいたり、ホームで利用している理容出張サービスの他、昔なじみの理美容室に継続し行くことができるよう支援しております。又、毎日ご自分で化粧をされる方や、爪切りの際にマニキュアを塗ることを喜ばれている方もいらっしゃいます。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事の準備や後片づけは、入居者さんのできる範囲で行っていただき、できない部分は職員がお手伝いしております。又、味付けなども入居者さんの好みに合わせて提供できるよう味見をしていただいたり、調理方法についてもアドバイスをいただき一緒にしております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご本人が希望されるものがあれば、一緒に買い物に出掛けたり、職員が買いに行きなどし、好みのものを日常的に楽しめるよう支援しております。又、喫煙については喫煙スペースに空気清浄機を設置し吸わない方への配慮も行っております。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	日々の行動記録を基に排泄のパターンを把握し、パット汚染が減少し気持ち良くトイレで排泄できるよう支援しております。又、排泄パターンに合わせたトイレ誘導を行うことで、腎盂炎などの尿路感染の予防に努めております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者さんの希望される時に入浴できるよう支援しております。一番風呂を好まれる方や同性介助を希望される方にも柔軟に対応できるよう努めております。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜間に安眠できるよう日課活動の参加をすすめております。又、休息はその時々希望や体調面を考慮し、居室やリビングで休息できるよう支援しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	過去の生活歴や習慣、趣味を活かした活動や役割を行うことで、張り合いのある生活が送れるよう、入居者さん一人ひとりに合わせた気晴らしができるよう支援しております。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居時に金銭の取り扱いについての説明をさせていただき、同意をいただいている入居者さんには少額のお金を持っていただき、パンやヤクルトの訪問販売時などに、ご自分で購入できるよう支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	レク企画での外出の他、その日の希望に合わせて買い物や散歩に出掛けたり、裏庭での畑の手入れなど、一人ひとりの希望に合わせて戸外に出掛けられるよう支援しております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	普段行くことのない場所へ行くことができるよう、外出のレクを企画したり、ご家族にも参加していただけるようお誘いし、夏には同じグループのホームと合同で夏祭りを開催するなど、ご家族との交流の機会をつくり支援しております。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話や手紙などはご本人の希望される時にはいつでもやり取りができるよう支援しております。又、ご自分から訴えられることはないが、知人との電話での交流を楽しまれている方に対しては、職員が声をかけ希望を確認し、電話するなどして継続した交流が図れるよう支援しております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間に制限は設けず、いつでも訪問していただける環境を作っております。又、ホームと一緒に食事を楽しんでいただくこともできるよう支援しております。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員が身体拘束に関する研修会に参加し、その研修内容を全職員に周知し正しい理解が持てるよう、勉強会を行っております。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	自由に外出できるよう外出したい方がいれば、安全確保の為ご本人の了承を得て一緒に散歩や買い物に出掛け、いつでも気分転換が図れるよう支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	各ユニットにてフロアーの職員が昼夜問わず安全面に配慮して所在の把握と見守りを行っております。居室にて過ごされている時には時々訪室し様子を確認しております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	はさみや縫い針、包丁などの危険なものを一律に禁止するのではなく、その時々の入居者さんの状況に応じて、職員の見守りのもと使用していただくことで、危険を防ぐ取り組みを行っております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故防止などの研修会があれば職員が参加し、研修内容を職員全員に周知し、必要な知識を学ぶことができるよう取り組みを行っております。ホーム内で事故が発生した場合は事故防止検討会を開催し、再発防止に向けての取り組みを行っております。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全職員が急変時や事故発生時に対応できるよう看護師の協力を得ながら、勉強会を行っております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回、消防による避難訓練を開催し、昼夜を問わず避難できるよう訓練しております。災害時の避難場所として、町内会の協力を得てホーム近くの町内会館を利用させていただけるよう了解を得ております。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	入居時には必ず暮らしの中で起こりえるリスク(転倒や急な体調の変化など)について説明し、了承を得ております。又、入居後も体調の変化や日頃の様子をお伝えし、変化に応じたリスクの説明をさせていただいております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日、職員もしくは看護師によりバイタル測定を行い記録しております。又、日々の生活の中で顔色の変化、食事量の増減、歩行状態などの変化についても留意し、必要時にはホームの看護師やかかりつけ医などに連絡し、今後の対応について相談しております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書やお薬手帳にて薬の目的や副作用や内容がわかるようにしております。薬の変更や追加があった時には口頭や連絡ノートなどを活用し、職員全員が把握できるよう努めております。又、服薬の際には確実に服薬していただけるよう飲み込むまでの確認を行っております。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日、排便の確認を行い入居者さんの排便状況を把握し、自然排便ができるよう運動や家事のお手伝いなどで身体を動かすよう働きかけております。又、必要に応じて早朝に冷水や牛乳を飲んでいただいたり、腹部マッサージを行い便秘予防に努めております。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、入居者さんの状況に応じて職員が介助を行い、残存歯牙や義歯、舌の汚れをきれいにして、肺炎予防に努めております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事摂取量、水分摂取量を記入し、全職員が把握できるようにしております。食事を残される方には理由をお聞きし今後のメニューに活かしております。又、水分を自ら希望されない方には声を掛け、水分を摂取していただけるよう支援しております。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対応マニュアルを活用し、感染症に対する予防や対応を行っております。又、ホーム内でも勉強会等を行い、職員の意識や理解の向上に努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食中毒予防の為、冷蔵庫、まな板、三角コーナーなどの消毒を毎日行い、衛生管理に努めております。又、食材についても必要以上の在庫は置かないようにし、新しいものを提供するようにしております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関に「介護についてお悩みの方はお気軽にご相談ください」との張り紙をし、きがるに出入りできるようにしております。又、玄関先には花苗のプランターを設置し、入りやすい環境作りに努めております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合う花をホーム内に飾ったり、食事の際には季節の旬の食材を提供し、季節を感じていただけるよう配慮しております。又、喫煙所には空気清浄機を設置し、臭いに対する配慮も行っております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関前にベンチを設置したり、リビングのソファの配置を、入居さん同士で語り合えるよう工夫を行っております。又、廊下にベンチや椅子を用意し、お一人で過ごしながらも、フロアの様子がわかるようその時々状況に応じて必要な空間作りの工夫を行っております。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には馴染みのものを持ってきていただき、居心地良く過ごせるよう工夫を行っております。ご家族からのプレゼントや仏壇を置き、居室内を飾られている方もいらっしゃいます。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空気の入換えを行ったり、湿度をチェックし快適に過ごしていただけるよう配慮しております。又、トイレは換気扇の使用と芳香剤を使用し、臭いに対しても配慮しております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの設置やトイレやキッチンの間口の確保、車いすの高さに調整した洗面台など、入居者さんの立場に立った安全面での工夫を心掛けております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	各ユニットにおいて入居者さんの状況に合わせた環境整備を行っております。居室やトイレの場所がわからない方がいる場合は目印を付けたり、大きな字で記したり場所を理解していただけるよう工夫しております。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ホームの外回りには花畑や家庭菜園があり、入居者さんと一緒に水やりや収穫を楽しんでいただけるような環境を作っております。又、玄関先にベンチを設置し、日光浴をしながら近隣の学生や近所の方と挨拶を交わし交流の場になっております。		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 小樽市内に同グループが三棟あり、この三月よりもう一棟新たに開設されます。グループ同士の情報交換や交流が持てることを利点とし、合同レクリエーションを行なったり勉強会を開催する事により、運営に反映させるよう取り組んでおります。